２０２０年度事業計画

　(令和2年１月１日～令和2年１２月３１日)

１．事業実施の方針

**子どもの心に寄り添い心を受けとめ生きる力を支援する活動の充実と発展を図る。**

1. 受け手の資質の向上とモチベーションの維持を図るために定期的な研修を必修とする。
2. 次年度受け手を継続するには全研修の原則として半分以上の出席を必要とする。
3. 支え手の意義と役割を確認し意識の共有を図るために支え手研修を必修とする。
4. 全国のチャイルドラインと協力体制をとり情報を共有し運営や研修に生かす。

**子どもの権利条約に保障された子どもたちを支える社会環境をつくるために地域社会に問題を提起する。**

1. 20周年に向けて実行委員会を組織し記念事業に向けて準備する。
2. チャイルドライン支援センターに協力し全国のチャイルドラインとともに全国的な規模で受けとめた子どもたちの声を社会に発信していく。
3. 広報誌や実施報告書を発行し広報普及に力を入れる。
4. 公開講座を開催し、広く一般の方に「子どもの現状」の理解を広める。

２．事業の実施に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 事　業　内　容 | 実　施 日　時 |
|  | 子どもの声を聴く事業の実施 | 電話毎週月・金・第2日・第3土　　16時～21時オンライン 毎月第1・第3木曜日　16時～21時全国一斉キャンペーンに協力　 |
| 受け手の研修を開催 | 1. 「逐語研修」　　　　　　　　　　　　 1/18(土)
2. 「オンライン研修」　　　　　　　　　　2/15(土)
3. 「ロールプレイング」　　　　　　　　　4/4(土)
4. 「現地研修」　　　　　　　　　　　　　5月
5. 「ロールプレイング」　　　　　　　　　6/12(金)
6. 「インターネット」　　　　　　 　7月
7. 「聴くストレスケア」　　　　　　　　　8月
8. 「ロールプレイング」　　　　　　　　　10月
9. 「ロールプレイング」　　　　　　　　　11月
10. 「社会的養育の現場から」　　　　　　　12月

※その他必要に応じて「逐語研修」「オンライン研修」を予定 |
| 支え手会議(研修)の開催 | 1. 2/15(土)
2. 9月
 |
| 子どもたちに配布するカード・ポスターの作成と広報 | 年間約20万枚のカード配布(県内全域の小学校・中学校・高等学校等) |
| ２啓発事業 | 公開講演会の開催 | 1. 公開講座「心をはぐくむ」紀恵理子　　 3/1(日)
 |
| 広報普及 | 実施報告書の発行　　　広報誌の発行7月　 |
| 啓発のためにイベント等に参加 | 1. チャリティゴルフ　5/10(日)
2. ﾌｪｽﾀMy宇都宮　 5/17(日)
3. ふれあいフェス　10/25(日)
4. 市青少年団体連「スポーツゴミひろい」等に協力
 |

**＜　財　政　＞**

実施報告書や広報誌等の有効な活用を図り、県内企業や個人の賛助会員についても、計画性を持って積極的な働きかけを継続的に行っていきたいと考えます。

そして、「チャリティイベント」も昨年同様しっかり取り組みたいと思います。

**＜　研　修　＞**

　養成講座を実施しないので、受け手や支え手のスキルアップを目指します。全研修の半数の出席と「ロール」と「逐語」の研修を必修とします。

　5月の平日に日光市の「だいじょうぶ」の見学、9月には「夜のスタディツアー」を実施する予定です。

**＜　広　報　＞**

子どもたちへの発信として、例年どおりカード配布やポスターの掲示などによりチャイルドラインをより身近なものと感じてもらえるよう広報に努力したいと思います。

社会発信としての活動は、今年度もいろいろな交流会やイベントなどにも積極的に参加したいと思います。そしていじめ、虐待、発達障害等、生きづらさを感じている子どもが多いこの社会において、他の団体、NPOとも手を携え、子どもの現状の理解と支援にも目を向け、広報誌などを通じて社会発信していきたいと考えています。

今年から広報誌の発行日を、7月、1月に変更する事とし、第28号、第29号の発行を予定しております。

内部交流を目的に発行している通信は、第97号～第102号の発行を予定しています。